

舞鶴市の小中一貫教育の基本的な考え方

小中一貫教育の定義

本市が行う小中一貫教育は、義務教育9年間を連続した期間と捉え、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生徒指導を行うとともに、教職員や児童生徒が連携・交流を深めることにより、小学校と中学校が協働して系統的・継続的に行う、いわゆる「義務教育課程のシームレス化」を図る教育活動とします。

取組の方向

①義務教育9年間で修了するのにふさわしい学力の定着

児童生徒の学力の充実・向上を図る上で、最も重要なことは、児童生徒にそれぞれの学年で習得すべき学習内容を確実に習得させることです。

小中一貫教育により、小学校課程6年間、中学校課程3年間において、一貫性を持った指導を行うことは、児童生徒の学習に対する悩みの解消や学習意欲を高め、学力の定着、ひいては充実・向上を図ることができます。

さらに、小学校において、小・中学校教員による教科の専門性を生かした授業、小学校教員が中学校において中学校教員とともに補充的な学習を行うことは、児童生徒の学校生活への不安を解消させるとともに、児童生徒の学びに連続性を持たせ、学習意欲の持続化を図ることができ、学力の定着に効果をもたらすことができます。

②豊かな人間性や社会性の育成

小中一貫教育により、系統的・継続的な道徳教育や児童生徒間の異年齢交流、地域の人々・社会集団との活動を9年間を通して計画的・発展的に行うことは、他人を思いやる心や感動する心等の豊かな人間性を育て、社会生活上のルールの習得等の社会性の育成に効果をもたらすことができます。

また、小・中学生が継続的に関わりを持つ活動は、小学生にとって、中学生が身近な憧れや目標となり日々の生活の意欲が高まるとともに、中学生にとって、自分の行動や発言に責任を持つ態度が養われ、より確かな自立(自律)へと近づくことができます。

さらに、9年間を見通して、児童生徒の発達段階に応じた適時・適切な指導を行い義務教育課程のシームレス化を行うことは、児童生徒に精神的安定をもたらす、着実な自己形成を促すことができます。

③小・中学校教職員の協働による9年間を見通した一貫性のある指導

小中一貫教育により、小・中学校教職員が小・中学校間の垣根をなくし、学習面・生徒指導面で学び合うことは、小・中学校教職員の協働意識が高まり、指導観や学力観、教育観等の相互理解が深まり、指導方法の改善など、教職員の指導力の向上が期待できます。

また、小・中学校教員が互いの学校文化や風土に触れることは、教員としての幅を広げることが期待できます。

さらに、小・中学校教員が、共通認識・目標を持って9年間の指導にあたることは、義務教育の担い手としての責任感が強まることを期待できます。

小・中学校教職員が、特別な支援を要する児童生徒の情報を密にし、協力体制を整え、小・中学校が児童生徒に継続的で一貫した支援を行うことは、児童生徒の個々の可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できる資質や能力を伸ばすことが期待できます。

舞鶴小中一貫教育基本方針より

小中一貫教育 城北中学校区

舞鶴市教育振興大綱 ～育てたい子ども像～
ふるさと舞鶴を愛し
夢に向かって将来を切り拓く子ども

— 城北中学校区教育目標 —

自らの未来を切り拓く「生きる力」を 身に付けた 次代を担う児童生徒の育成

明倫小学校



北田辺128番地1
Tel 0773-75-1225

学校教育目標

校名「明倫」の伝統を受け、心豊かでたくましく
自ら学び 世界にはばたく児童を育成す

余内小学校



倉谷30番地
Tel 0773-75-0379

学校教育目標

「学ぶ楽しさ 清き心
雄々しき負けじ魂をもつ 余内っ子」の育成

城北中学校



南田辺128番地
Tel 0773-75-0158

学校教育目標

自ら学び 心豊かに たくましく
仲間とともに主体的に生きる城北中生徒の育成

吉原小学校



東吉原613番地
Tel 0773-75-0334

学校教育目標

「夢」に向かい、根気強く努力する
子どもの育成

福井小学校



下福井702番地1
Tel 0773-75-0539

学校教育目標

「自ら学び 豊かな心もち たくましく生きる」
子どもの育成

田辺城跡